

平成 30 年度

宮崎大学大学院 医学獣医学総合研究科

学生募集要項

医科学獣医科学専攻
(修士課程)

医学獣医学専攻
(博士課程)

《目 次》

医科学獣医科学専攻（修士課程）

宮崎大学大学院 医学獣医学総合研究科 医科学獣医科学専攻（修士課程）

アドミッションポリシー…………… 1

社会人学生に対する修学上の配慮…………… 2

平成 30 年度学生募集要項修士課程（医科学獣医科学専攻）

1. 入試日程……………	3
2. 募集人員……………	3
3. 医科学獣医科学専攻の概要……………	3
4. 出願資格……………	3
5. 出願資格認定……………	4
6. 出願手続及び方法……………	5
7. 出願書類等提出先及び照会先……………	7
8. 入学者選抜方法……………	7
9. 合格者の発表及び通知……………	8
10. 入学手続……………	8

医科学獣医科学専攻（修士課程）案内

1. 修業年限……………	9
2. 履修コース……………	9
3. 各所属講座分野等の主たる研究内容及び代表教員……………	10
(1) 生命科学研究者育成コース……………	10
(2) 高度医療関連技師・サービスイノベーション人材養成コース……………	14
(3) 生命倫理コーディネーターコース……………	14
4. 教育課程等の概要……………	15
5. 履修方法及び修了要件……………	18

医学獣医学専攻（博士課程）

宮崎大学大学院 医学獣医学総合研究科 医学獣医学専攻（博士課程）

アドミッションポリシー…………… 19

社会人学生に対する修学上の配慮…………… 20

国費外国人留学生・政府派遣留学生秋季入学(10月入学)について…………… 20

平成 30 年度学生募集要項博士課程（医学獣医学専攻）

1. 入試日程	2 1
2. 募集人員	2 1
3. 医学獣医学専攻の概要	2 1
4. 出願資格	2 1
5. 出願資格認定	2 2
6. 出願手続及び方法	2 3
7. 出願書類等提出先及び照会先	2 6
8. 入学者選抜方法	2 6
9. 合格者の発表及び通知	2 7
10. 入学手続	2 7

医学獣医学専攻（博士課程）案内

1. 修業年限	2 8
2. 履修コース	2 8
3. 各所属講座分野等の主たる研究内容及び代表教員	2 9
(1) 高度臨床医育成コース	2 9
(2) 高度獣医師育成コース	3 0
(3) 研究者育成コース	3 1
4. 教育課程等の概要	3 6
5. 履修方法及び学位授与	4 0

共通事項

1. 障害等のある入学志願者の事前相談	4 1
2. 個人情報の取扱いについて	4 2
3. インターネットによる入試案内	4 2
4. 入学料・授業料の免除及び徴収猶予	4 3
5. 奨学金制度	4 3
6. 在学中の保険制度	4 4
7. 学生寄宿舍への入居	4 4

宮崎大学医学部案内図及び交通案内	4 5
------------------	-----

宮崎大学大学院 医学獣医学総合研究科 医科学獣医科学専攻（修士課程）アドミッションポリシー

1. 教育理念（教育理念・目標、育成する人材像）

本専攻の使命は、生命科学の発展と社会の福祉の向上に寄与することです。各コースでは、以下を備えた人材を育成します。

1. 生命科学研究者育成コース

医学・獣医学領域の生命科学研究者や教育者として活躍することができる人材を養成する。また、畜産関係者への教育により、修士修了後に、医学・獣医学の知識を持ち、科学的な思考で人獣共通感染症や口蹄疫などの感染症に対応し啓蒙活動ができる人材を育成する。

2. 高度医療関連技師・サービスイノベーション人材養成コース

合理的、科学的な思考能力を有し、より高度で先進的な医療支援に携わることができる人材、また、該当医療支援領域における後進の教育・指導に当たることができる人材を養成する。

3. 生命倫理コーディネーターコース

最新の医事関連法や省庁の倫理指針、関連諸学会の倫理ガイドライン等に精通し、それらを迅速に研究の現場、臨床の現場へフィードバックするための知識と能力を身に付けた人材を養成する。

2. 入学者受け入れ方針（求める人材像）

本専攻は、医学と獣医学を融合した高度な研究活動を実践している本研究科博士課程への進学を視野に入れた教育研究を行うものであり、また、地域社会の要請に応えうる人材の輩出を考慮した教育研究を目指すものです。そして、本専攻での修学は、医学・獣医学分野及び医療社会学分野の研究と教育、あるいは高度な診療支援に携われる人材の養成を主眼としています。

したがって、本専攻では、次のような人材を求めています。

1. 生命科学研究者育成コース

将来、医学・獣医学領域の生命科学研究者としての道を志す農学、薬学（4年制）、理学、工学などの自然科学系学部卒業生、医療関連企業等で働く社会人及び畜産関係者。あるいは、社会学的側面から医学・獣医学領域生命科学の課題や医療に関する研究を志す人文社会科学系学部卒業生や畜産関係者又は海外において6年制未満の課程を卒業した獣医学士。

2. 高度医療関連技師・サービスイノベーション人材養成コース

医療系専門学校や4年制大学学部を卒業後、専門職業人として医療現場で医療支援の実務に携わっている社会人。あるいは、将来、医療支援の実務に携わりたいと考えている4年制大学学部卒業生。

3. 生命倫理コーディネーターコース

医療・福祉系の学部卒業生、農学、工学などの自然科学系学部卒業生、心理学、社会学、教育学、哲学、法学などの人文社会科学系学部卒業生など、幅広いバックグラウンドを持つ学部卒業生、及び臨床心理士や医療・看護・福祉関連の資格を有し実務経験と問題意識のある社会人。

3. 入学者選抜の基本方針

1. 求める学生像に沿って、受験者のアカデミックバックグラウンドやキャリアを参考にしつつ、受験者が希望する研究テーマや目標、本修士課程修了後に目指すもの等を考慮し、総合的に選抜します。
2. 客観的で透明性のある方法によって、公平に選抜します。

社会人学生に対する修学上の配慮

昼夜開講による夜間履修について

本研究科においては、大学院設置基準第 14 条「教育方法の特例」を適用し、有職者が離職することなく修学することが可能となるよう、昼夜開講します。

なお、受講時間及び研究時間は指導教員との協議の上、設定します。

長期履修学生制度について

この制度は、学生が職業を有している等の事情により、標準修業年限（修士課程 2 年）を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し、修了することができる制度です。

希望される場合は、授業料を納入する前に長期履修生としての申請手続きをすることになっています。授業料納入後の申請は認められませんので、注意してください。

上記の詳細（メリット等）は下記ホームページアドレスでご覧ください。

<http://www.miyazaki-u.ac.jp/ijudaigakuin/>

平成 30 年度学生募集要項医科学獣医科学専攻 (修士課程)

1. 入試日程

区 分	1 次 募 集	#2 次 募 集 (予定)
出 願 期 間	平成29年 8月17日 (木)	平成29年12月11日 (月)
	平成29年 8月23日 (水)	平成29年12月15日 (金)
試 験 日	平成29年 9月11日 (月)	平成30年 1月 5日 (金)
合 格 発 表	平成29年10月13日 (金)	平成30年 2月 8日 (木)

※ 1次募集の結果により充足率等を勘案し2次募集を実施しない場合もあります。

2. 募集人員

医科学獣医科学専攻 8 人 (含む外国人留学生特別選抜)

3. 医科学獣医科学専攻の概要

医科学獣医科学専攻 (Master Course for Medical and Veterinary Sciences)では、医学と獣医学が連携・融合することにより、生命科学に関する広範な知識に基づいた総合的判断力と研究能力を備え、技術・知識基盤社会の形成に資する研究者及び教育者、また、高度な研究マインドに裏打ちされた質の高い医療関連技師や研究者及び臨床倫理コンサルタントの養成を目指します。このような人材を養成することにより、人類の健康と福祉の向上に貢献する人材と地域の医療や産業に貢献できる人材の養成を目指しています。

また、博士課程とも協働して、医学と獣医学が連携・融合した総合的な教育研究を行い、地域の要請に応えます。

4. 出願資格

一般選抜 (社会人選抜を含む)

- (1) 学校教育法第 83 条に定める大学を卒業した者及び平成 30 年 3 月までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第 104 条第 4 項の規定により学士の学位を授与された者又は平成 30 年 3 月までに学士の学位を授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者及び平成 30 年 3 月までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者及び平成 30 年 3 月までに修了見込みの者
- (5) 専修学校の専門課程 (4 年課程以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たす

ものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び平成30年3月修了見込みの者

- (6) 文部科学大臣の指定した者(昭和28年2月7日文部省告示第5号)
- (7) 大学に3年以上在学し、又は外国において学校教育における15年の課程を修了し、本研究科が、所定の単位を優れた成績をもって修得したものとして認めた者
- (8) 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び平成30年3月までに修了見込みの者
- (9) 学校教育法第102条第2項の規定により本研究科以外の大学院に入学した者であって、本研究科において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者
- (10) 本研究科が、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、平成30年3月31日までに22歳に達する者

外国人留学生特別選抜

上記(1)～(10)の出願資格のいずれかに該当する者で、外国の国籍を有する者のうち、出入国管理及び難民認定法において大学の入学に支障のない在留資格を有する者又は取得できる見込みの者

5. 出願資格認定

前記「4. 出願資格」の(7)、(9)、(10)により出願する者は、事前に出願資格の審査を受け、出願資格を有することが認定された者のみ出願することができますので、医学部学生支援課入試係(電話(0985)-85-8970「直通」)に問い合わせの上、次の書類を提出し、出願資格の認定を受けてください。

なお、出願資格(10)における個別審査とは、短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業者又は外国大学日本分校等の修了者など大学卒業資格を有しない者を対象として、研究歴及び実務経験等を個別に審査するものです。

(1) 受付期間

1次募集 平成29年7月14日(金)～平成29年7月21日(金)17時必着

#2次募集 平成29年11月17日(金)～平成29年11月24日(金)17時必着(予定)

※土曜日・日曜日及び祝日を除く

(2) 提出書類

ア. 出願資格(7)による者

提出書類	摘要
出願資格認定申請書	本研究科所定の用紙
最終学校の卒業(見込)又は修了(見込)証明書	出身学校の長が作成したもの
在学証明書(3年次在学中の者のみ)	出身学校の長が作成したもの

成績証明書	出身学校の長が作成したもの
志望理由書（3年次在学中の者のみ）	本研究科所定の用紙
業績調書（共著の論文、著書を含む。）	本研究科所定の用紙

イ．出願資格(9)、(10)による者

提出書類	摘要
出願資格認定申請書	本研究科所定の用紙
最終学校の卒業（見込）又は修了（見込）証明書	出身学校の長が作成したもの
成績証明書	出身学校の長が作成したもの
研究内容証明書	本研究科所定の用紙
業績調書（共著の論文、著書を含む。）	本研究科所定の用紙

※出願に際しては、予め志望する専攻領域の研究指導教員に相談の上、必要書類を提出してください。

(3) 郵送の場合

「書留」又は「簡易書留」の郵便とし、封筒の表に「出願資格認定申請書類在中」と朱書きしてください。

(4) 認定方法及び結果通知

出願資格の認定結果は、提出書類に基づき審査し、下記の期日までに本人に通知します。

1次募集 平成29年 8月 7日（月）

#2次募集 平成29年12月 7日（木）（予定）

6. 出願手続及び方法

(1) 出願期間

1次募集 平成29年 8月17日（木）～平成29年 8月23日（水）17時必着

#2次募集 平成29年12月11日（月）～平成29年12月15日（金）17時必着（予定）

- ① 受付時間は、8時30分から17時までとします。
- ② 郵送の場合 「書留」又は「簡易書留」の郵便とし本学所定の封筒で送付してください。
- ③ 持参の場合 宮崎大学医学部学生支援課入試係（清武キャンパス）へ持参してください。

(2) 出願書類等

書類等	摘要
入学志願票	・ 本研究科所定の用紙に必要事項を記入してください。

受 験 票 ・ 写 真 票	・ 出願前 3 か月以内に撮影した写真（縦 4 cm・横 3 cm）を「受験票」及び「写真票」の所定の欄に貼付し提出してください。（本研究科所定の用紙）
成 績 証 明 書	・ 出身大学（学部）長が作成し厳封したもの。 ・ 出願資格認定時に提出された場合は、必要ありません。
卒 業 （ 見 込 ） 証 明 書	・ 出身大学が作成したもの。 ・ 出願資格認定時に提出された場合は、必要ありません。
学位授与証明書又は 学位授与申請受理証明書	・ 大学評価・学位授与機構が証明したもの。 （出願資格 4 の（2）に該当する者）
住民票の写し	・ 本邦に在留している外国人で出願する者は、市区町村長の発行する住民票の写しを提出してください。
受 験 許 可 書 （ 1 ） 受 験 許 可 書 （ 2 ）	・ 大学に在学中の者又は官公署、会社等に在職中の者は、当該所属長の受験許可書(1)を、昼夜開講制を希望する者で在職のまま在学しようとする者は、受験許可書(2)を提出してください。 （本研究科所定の用紙） ・ 平成 30 年 3 月に卒業見込の場合は必要ありません。
検 定 料 (30,000円)	・ 本研究科所定の振込依頼書を使用し、検定料を納付すること。 ※検定料振込用紙は、修士課程・博士課程が別となっておりますので、ご注意ください。
振込証明書貼付台紙	・ 本研究科所定の用紙を使用し、検定料振込証明書（C 票）を貼付してください。
宛 名 票	・ 合格通知等の際に使用しますので「氏名、住所、郵便番号」を明記してください。（本研究科所定の用紙）
受 験 票 送 付 用 封 筒	・ 定形の封筒に郵便番号・あて名を明記し、郵便切手(362 円)を必ず貼付してください。

※ 出願に際しての留意事項

- ① 黒のボールペンを使用し、省略しないで正確に記入してください。
- ② ＊欄は記入しないでください。また、氏名及び生年月日は戸籍上のものを記入してください。
- ③ 出願書類等は一括して取りそろえ、出身大学長を経て提出するか、又は本人が直接提出してください。
なお、書類不備のものは受け付けませんので、記入もれや誤記等がないように十分注意してください。
- ④ 出願に際しては、予め志望するコース（10～14 頁）の各所属講座分野等の代表教員に照会してください。
- ⑤ 出願手続等について不明な点があるときは、本学医学部学生支援課入試係に照会してください。
- ⑥ 出願書類の記載事項と事実が相違していることが判明した場合は、入学を取り消すことがあります。
- ⑦ 出願書類の受付後、記入事項の変更及び書類の変更は認めません。また、いかなる理由があっても受付後の出願書類の返還はしません。

- ⑧ 国費留学生は、国費外国人留学生証明書（出身大学が作成したもの）を提出してください。
- ⑨ 障害等のある入学志願者については、41 頁「障害等のある入学志願者の事前相談」をご確認ください。
- ⑩ 出願書類を受理した後は、以下の場合を除き、振り込み済の検定料は返還いたしません。
- 検定料を振り込んだが本学に出願しなかった（出願書類等を提出しなかった又は出願が受理されなかった）場合
 - 検定料を誤って二重に振り込んだ場合

――返還請求の方法――

検定料返還請求願（様式は問いません。返還請求理由、氏名（フリガナ）、現住所、電話番号、検定料返還先銀行口座情報（銀行名、支店名、口座種別、口座番号、口座名義（カタカナ）を明記したもの）を作成し、必ず「C票検定料振込証明書」を添付のうえ、以下宛へ平成 30 年 3 月 31 日（必着）までに、速やかに郵送してください。平成 30 年 4 月 1 日以降に申し出られた場合、返還に応じることはできませんのでご了承ください。

〒889-2192 宮崎市学園木花台西 1 丁目 1 番地
宮崎大学財務部財務課出納係
電 話 (0985) 58-7122

7. 出願書類等提出先及び照会先

〒 889-1692 宮崎県宮崎市清武町木原 5200
宮崎大学医学部学生支援課入試係
電話 (0985) 85-8970(直通) FAX (0985) 85-0693

8. 入学者選抜方法

(1) 一般選抜（社会人選抜を含む）

選考は、提出された書類審査及び口述試験により行います。

(2) 外国人留学生特別選抜

選考は、書類審査及び口述試験により行います。

※ 海外在住の志願者については、渡日前入試を実施します。口述試験の受験方法は インターネット等を利用した受験とします。

なお、この入試方法を希望する場合は、事前に希望する指導教員と十分に相談の上、申し込むこと。

(3) 学力検査等の実施期日

期 日	科 目 等	時 間	備 考
1 次募集 平成29年 9月11日（月）	口述試験	9:00～12:00	
#2 次募集 平成30年 1月 5日（金）（予定）			

※ 試験当日の集合時間は 8 時 40 分を予定しています。

詳細については、受験票送付時に案内します。

(4) 試験場

宮崎大学医学部（清武キャンパス）

※試験場の詳細については、受験票送付時に案内します。

9. 合格者の発表及び通知

(1) 合格発表

日 時 1次募集 平成29年10月13日（金）午前10時

#2次募集 平成30年 2月 8日（木）午前10時（予定）

場 所 宮崎大学医学部講義実習棟玄関横掲示板

(2) 合格通知

合格者には合格通知書を送付します。電話による可否の問い合わせには応じません。

10. 入学手続

① 入 学 料 282,000 円

② 授 業 料年額 535,800 円（前期 267,900 円 後期 267,900 円）

○本学が指定した期間中に手続を行わなかった者は、入学辞退者として取扱います。

○入学料及び授業料は法令改正等により金額が変更になる場合があります。

○入学料は入学手続までに納入してください。

○納入された入学料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還できません。

i. 入学手続をしなかった場合

ii. 入学料を誤って二重に払い込んだ場合

○在学中に授業料の改正が行われた場合は、改定時から新授業料が適用されます。

○長期履修生の授業料は、正規修業年限の授業料合計額を申請された履修年数で按分した額を年度毎に納入することになっています。

○授業料の納付は新学期開始後になります。

○授業料の納入は、原則として、預金口座からの「口座振替」とします。

前期の口座振替日は初年度は5月下旬頃、次年度以降は4月下旬頃の予定です。

後期の講座振替日は10月下旬頃の予定です。

<http://www.miyazaki-u.ac.jp/education/campus/jugyou/>

③ 入学手続

・入学手続期間：2月上旬から3月下旬

（入学手続書類等の詳細は、合格通知書と一緒に郵送により通知します。）

医科学獣医科学専攻（修士課程）案内

1. 修業年限

標準修業年限は2年とする。ただし、優れた業績を挙げたものにあつては、大学院設置基準第16条ただし書きの規定により、1年以上の在学で足りるものとします。

2. 履修コース

(1) 生命科学研究者育成コース(Training Course for Researchers of Life Science)

「生命科学研究者育成コース」は、将来は医学・獣医学領域の生命科学研究者や教育者として活躍することができる人材、また、研究心を持ち科学的な思考で人獣共通感染症などの感染症に対応できる畜産関連の人材を養成することを目的としています。このコースでは生命科学に関する広範な知識を学んだ上で、修了後の医学獣医学総合研究科博士課程への進学も視野に入れ、医学ないし獣医学研究における重要な基盤技術を修得し、自立した研究者として研究を行うための基礎を修得することが可能となります。

【学位】修士（医科学）、修士（動物医科学）

(2) 高度医療関連技師・サービスイノベーション人材養成コース(Training Course for Healthcare and Service Innovation Professionals)

「高度医療関連技師・サービスイノベーション人材養成コース」は、種々の医療現場における専門的医療支援技能者が、合理的・科学的な思考能力を修得し、また、より高度な専門知識と技術を修得することが可能となります。

【学位】修士（医科学）

(3) 生命倫理コーディネーターコース(Training Course for Bioethics Coordinator)

「生命倫理コーディネーターコース」は、生命科学や医療における倫理コンサルトに関する基礎知識と専門的スキルを修得することを目的とする。希少性のある専門職業人として今後の社会ニーズが期待される専門知識と能力を修得することが可能となります。

【学位】修士（医科学）

3. 各所属講座分野等の主たる研究内容及び代表教員

(1) 生命科学研究者育成コース

所属講座分野等	主たる研究内容	代表教員
解剖学講座組織細胞化学分野	ミトコンドリアによる細胞制御機構の研究	菱川 善隆
解剖学講座超微形態科学分野	胃酸分泌機構に関する組織科学的研究	澤口 朗
解剖学講座神経生物学分野	急性及び慢性疼痛の発生機序とその制御に関する研究	池田 哲也
機能制御学講座統合生理学分野	高次脳神経機能－特に学習・記憶－における神経可塑性の分子機能に関する研究	高宮 考悟
機能制御学講座応用生理学分野	蛋白質、酵素、酵素阻害剤等による組織改変を含む生体制御とその病態生理に関する研究	丸山 眞杉
フロンティア科学実験総合センター 実験支援部門R I 分野	遺伝情報発現システムのゲノム科学・分子遺伝学的解析	剣持 直哉
機能制御学講座腫瘍生化学分野	がん及び各種疾患のゲノム解析、生体情報制御、転写調節及び幹細胞研究	森下 和広
機能制御学講座機能生化学分野	細胞のストレス応答と疾患の分子メカニズム	西頭 英起
機能制御学講座薬理学分野	細胞骨格による生体の恒常性維持機能	武谷 立
機能制御学講座物質科学分野	生命現象の解明とその応用技術の開発を目指した新規分子の創製	徐 岩
機能制御学講座蛋白質機能学分野	蛋白質の立体構造に基づいた生命現象の解明に関する研究	和田 啓
フロンティア科学実験総合センター 生理活性物質研究部門 生理活性物質機能解析分野	生理活性ペプチドによる摂食およびエネルギー代謝調節に関する研究	秋枝 さやか
フロンティア科学実験総合センター 生理活性物質研究部門 生理活性物質探索病態解析分野	生理活性物質の探索及び分子レベルの機能解析と疾患病態に関する研究	加藤 丈司
病理学講座構造機能病態学分野	循環器・血液疾患の発生病理、病理診断学に関する研究	浅田 祐士郎
病理学講座腫瘍・再生病態学分野	がん細胞の悪性形質、特に浸潤・転移現象の分子機構に関する研究	片岡 寛章
感染症学講座微生物学分野	プリオン病を中心としたタンパク異常凝集が引き起こす疾患群の分子機構に関する研究	新 竜一郎
感染症学講座寄生虫学分野	寄生虫の生物学的特性に関する研究	丸山 治彦

所属講座分野等	主たる研究内容	代表教員
感染症学講座免疫学分野	免疫応答における樹状細胞機能の役割に関する研究	佐藤 克明
社会医学講座公衆衛生学分野	疫学手法を使用した予防医学、産業保健に関する研究	黒田 嘉紀
社会医学講座法医学分野	水棲微生物を指標とした溺死診断への応用を目指した宮崎県内各水域の細菌の分布の調査	湯川 修弘
医療情報部	電子カルテに蓄積された医療情報の活用に関する研究	荒木 賢二
内科学講座循環体液制御学分野	循環器・腎臓・高血圧・消化器疾患と生理活性物質に関する研究	北村 和雄
内科学講座消化器血液学分野	血液学、消化器学、腫瘍学に関する研究	下田 和哉
内科学講座神経呼吸内分泌代謝学分野	タンパクとペプチドの精製・構造解析決定とその機能解析に関する研究	中里 雅光
内科学講座免疫感染病態学分野	ヒトにおける感染症および免疫学の研究	岡山 昭彦
消化器内科学講座	消化器疾患、主に胆膵疾患の病態と治療に関する研究	河上 洋
外科学講座肝胆膵外科学分野	肝胆膵および消化管の外科関連疾患の病態と治療に関する研究	七島 篤志
外科学講座心臓血管外科学分野	ステンドグラフトの長期予後に関する臨床研究	中村 都英
発達泌尿生殖医学講座泌尿器科学分野	泌尿器疾患の病態解明と治療法の開発に関する研究	賀本 敏行
臨床神経科学講座脳神経外科学分野	脳腫瘍の遺伝子解析	竹島 秀雄
発達泌尿生殖医学講座小児科学分野		未定（※）
発達泌尿生殖医学講座産婦人科学分野	胎児生理と病態に関する研究	鮫島 浩
感覚運動医学講座整形外科分野	運動器：整形外科（骨・筋肉・関節・神経・靱帯など）の運動器・脊椎疾患の病態解明と診断・治療法の開発や疾患の疫学に関する研究	帖佐 悦男
感覚運動医学講座皮膚科学分野	皮膚科学における各種病態に関する研究	天野 正宏
感覚運動医学講座 耳鼻咽喉・頭頸部外科学分野	難聴病態に関する臨床的および基礎的研究 聴覚診断法の開発に関する研究	東野 哲也

所属講座分野等	主たる研究内容	代表教員
感覚運動医学講座顎顔面口腔外科学分野	顎口腔機能、顎口腔病態、顎口腔再建に関する研究	永田順子
病態解析医学講座放射線医学分野	C T・MR I・P E Tを用いた診断に関する研究	平井俊範
病態解析医学講座麻酔生体管理学分野	麻酔、集中治療、疼痛機序に関する研究	恒吉勇男
病態解析医学講座救急・災害医学分野	侵襲に対する生体反応に関する臨床的研究	落合秀信
臨床神経科学講座精神医学分野	モノアミン神経その他、種々の脳内神経系に関する神経科学研究	石田康
感覚運動医学講座眼科学分野	視覚電気生理学、ゲノム解析に関する研究	直井信久
薬剤部	医薬品の有効性・安全性に係る基礎的・臨床的研究	池田龍二
フロンティア科学実験総合センター 実験支援部門生物資源分野	ヒトの病態を代替するモデル動物の開発と維持に関する研究	越本知大
医療人育成支援センター	慢性糸球体腎炎の臨床病理学的解析に関する研究	小松弘幸
獣医解剖学	動物の生体機構に関する研究	保田昌宏
獣医生理学	鳥類や哺乳動物の生体リズムに関する研究	中原桂子
フロンティア科学実験総合センター 実験支援部門遺伝資源分野	下垂体の機能制御におけるインヒビン・アクチビンの働きに関する研究	片山哲郎
獣医薬理学	アクアポリンに関する研究 腎疾患のバイオマーカーに関する研究 急性腎障害および多臓器不全に関する研究 動物の遺伝病に関する研究	池田正浩
獣医病理学	比較病理学に関する研究	山口良二
獣医病理学	動物の呼吸器病に関する研究	平井卓哉
産業動物衛生学	産業動物の疾病予防学に関する研究	末吉益雄
獣医微生物学	ウイルス感染症に関する研究	岡林環樹
獣医公衆衛生学	家畜および食品由来病原微生物の制御に関する研究	三澤尚明

所属講座分野等	主たる研究内容	代表教員
獣医公衆衛生学	人獣共通感染症・越境性動物感染症の集団感染症の集団発生時における危機管理並びに制御に関する研究	山崎 渉
獣医外科学	動物のがん治療に関する研究	日高 勇一
獣医内科学 産業動物内科学	栄養・代謝性疾患の診断・治療に関する研究	片本 宏
産業動物臨床繁殖学	獣医周産期学に関する研究	大澤 健司
産業動物臨床繁殖学	産業動物の繁殖効率向上に関する研究	北原 豪
獣医臨床放射線学	生体応答の可視化数値化に関する研究－fMRIによる動物の痛みの可視化と数値化－	浅沼 武敏
獣医臨床放射線学	画像診断装置と脳脊髄液の解析を利用した動物の神経疾患の診断および治療に関する研究	佐藤 裕之
獣医寄生虫病学	寄生虫症の病態、診断、疫学に関する研究	野中 成晃
獣医寄生虫病学	寄生虫症の診断法開発、宿主-寄生虫相互作用の解析に関する研究	吉田 彩子
獣医機能生化学	人工多能性幹細胞（iPS細胞）を用いた動物再生医療に関する研究	西野 光一郎
動物病院	臨床獣医学に関する新規治療法ならびに診断法の開発	永延 清和
動物病院	獣医消化器疾患に関する研究	鳥巢 至道
産業動物伝染病防疫学	獣医伝染病病原体に対する免疫防御の機序に関する研究及び重要家畜伝染病に対する監視システムや防疫対策の開発に関する研究	乗峰 潤三
産業動物伝染病防疫学	重要家畜伝染病の防疫戦略に関する研究	関口 敏
産業動物防疫リサーチセンター 感染症研究・検査部門	新規生理活性ペプチド探索、単離・同定	井田 隆徳

(2) 高度医療関連技師・サービスイノベーション人材養成コース

所属講座分野等	主たる研究内容	代表教員
病理学講座構造機能病態学分野	循環器・血液疾患の発生病理、病理診断に関する研究	浅田 祐士郎
病理学講座腫瘍・再生病態学分野	がんの悪性度に関する臨床病理学的研究	片岡 寛章
内科学講座循環体液制御学分野	循環器病学、腎臓病学、消化器病学と探索医療に関する研究	北村 和雄
感覚運動医学講座整形外科学分野	整形外科（運動器）疾患における画像解析・バイオメカニクス整形外科疾患における新しい治療法・診断法の開発 ノックアウトマウスを用いたロコモティブシンドローム（ロコモ）の病原病態解明	帖佐 悦男
感覚運動医学講座 耳鼻咽喉・頭頸部外科学分野	聴覚リハビリテーションに関する研究 人工聴覚器の臨床効果に関する研究	東野 哲也
感覚運動医学講座顎顔面口腔外科学分野	顎口腔運動および顎口腔領域の機能回復を目的とした再建や再生医療に関する研究	永田 順子
感覚運動医学講座眼科学分野	網膜硝子体疾患の診断と治療および網膜変性疾患患者のゲノム解析と臨床視覚電気生理学に関する研究	直井 信久
医療情報部	医療情報の活用、評価に関する研究	荒木 賢二

(3) 生命倫理コーディネーターコース

所属講座分野等	主たる研究内容	代表教員
社会医学講座生命・医療倫理学分野	臨床研究における倫理ガバナンス、臨床現場における倫理コンサルテーション体制、倫理的推論の基礎理論に関する研究	板井 孝一郎
社会医学講座研究の倫理と政策学分野	医学研究の倫理とガバナンスに関する研究、科学技術政策に関する比較研究	岩江 荘介

※代表教員が『未定』となっている分野を希望する場合は、事前に下記担当にご連絡ください。

宮崎大学医学部学生支援課入試係
電話（0985）85-8970（直通）

4. 教育課程等の概要

(授業科目及び単位数)

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			備考
			必修	選択	自由	
研究基盤共通科目	社会・医学倫理	1 通	2			
	生体構造学概論	1 通	2			
	生体機能学概論	1 通	2			
	病理・病態学概論	1 通	2			
	人獣共通感染症学概論	1 通	2			
	基礎細胞生物学	1 通	2			
	小計 (6 科目)	—	12	0	0	
研究基盤選択共通科目	社会環境疫学・医療統計学	1 通		2		
	研究者のための英語演習	1 通		2		
	国際交流支援コミュニケーション演習	1 通		2		
	実験動物学	1 通		2		
	獣医学概論	1 通		2		
	臨床薬理・薬剤学	1 通		2		
	健康スポーツ医学	1 通		2		
	医療関連法規	1 通		2		
	医療サービス・イノベーション論	1 通		2		
	医療サービス統計論	1 通		2		
	医療サービス知識創造論	1 通		2		
	サイエンスコミュニケーション特論	1～2 通		2		
	先端的医学獣医学特論	1～2 通		2		
	小計 (13 科目)	—	0	26	0	
コース別研究科目	分子組織細胞生物学演習	1～2 通		2		
	超微形態学演習	1～2 通		2		
	疼痛学入門	1～2 通		2		
	分子神経科学演習	1～2 通		2		
	生体制御解析学演習	1～2 通		2		
	ゲノム科学演習	1～2 通		2		
	腫瘍ゲノム発生演習	1～2 通		2		
	生体システム制御学演習	1～2 通		2		
	細胞情報機能学演習	1～2 通		2		
	分子生命化学演習	1～2 通		2		
	蛋白質構造学演習	1～2 通		2		
	発生生物学演習	1～2 通		2		
	病態医化学演習	1～2 通		2		
	生体情報制御学演習	1～2 通		2		

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			備考
			必修	選択	自由	
コース別研究科目	生命科学研究者育成コース	生理活性ペプチド探索演習	1～2通	2		
		循環病理学演習	1～2通	2		
		腫瘍細胞生物学演習・実習	1～2通	2		
		病原・常在微生物学演習	1～2通	2		
		寄生物学演習	1～2通	2		
		免疫生物学演習	1～2通	2		
		公衆衛生学演習	1～2通	2		
		法医解剖診断学演習	1～2通	2		
		医療情報学演習	1～2通	2		
		循環器・腎臓・消化器病学演習・実習	1～2通	2		
		病態修復学演習	1～2通	2		
		神経・呼吸器・内分泌代謝学演習	1～2通	2		
		ウイルス発癌病態解析学演習	1～2通	2		
		胆膵疾患病態制御演習	1～2通	2		
		肝疾患病態制御演習	1～2通	2		
		腫瘍機能制御外科学演習	1～2通	2		
		病態制御外科学演習	1～2通	2		
		悪性腫瘍泌尿器科学演習	1～2通	2		
		神経腫瘍学演習	1～2通	2		
		小児科学演習	1～2通	2		
		周産期脳障害の発症と予防演習	1～2通	2		
		神経・運動器・脊椎病態学演習	1～2通	2		
		皮膚科学演習	1～2通	2		
		聴覚生理・病態学演習	1～2通	2		
		顎口腔再建学演習	1～2通	2		
		眼科学演習	1～2通	2		
		画像診断学演習	1～2通	2		
		血管平滑筋反応学演習	1～2通	2		
		急性病態解析学演習	1～2通	2		
		神経生理学演習	1～2通	2		
		慢性糸球体腎炎解析演習	1～2通	2		
		薬物動態学演習	1～2通	2		
		実験動物学演習	1～2通	2		
		動物比較生体構造学演習	1～2通	2		
		動物神経生理学演習	1～2通	2		
		内分泌ホルモンの生理・生化学演習	1～2通	2		
		生体内水分子輸送学演習	1～2通	2		

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			備考
			必修	選択	自由	
コース別研究科目	生命科学研究者育成コース	比較病理学演習	1～2通	2		
		産業動物衛生学演習	1～2通	2		
		獣医病原細菌学演習	1～2通	2		
		食品由来感染症学演習	1～2通	2		
		食品微生物学演習	1～2通	2		
		越境性動物感染症学演習	1～2通	2		
		獣医循環器画像診断学演習	1～2通	2		
		獣医心血管系腫瘍学演習	1～2通	2		
		動物臨床栄養学演習	1～2通	2		
		獣医繁殖内分泌学演習	1～2通	2		
		放射線基礎獣医学演習	1～2通	2		
		獣医神経疾患診断学演習	1～2通	2		
		獣医寄生虫学演習	1～2通	2		
		獣医機能生化学演習	1～2通	2		
		獣医麻酔学演習	1～2通	2		
		獣医肝胆道系疾患病態制御演習	1～2通	2		
		獣医伝染病学演習	1～2通	2		
		生命科学研究	1～2通	8		
		小計（69科目）	—	8	136	0
	高度医療関連技師・サービスイノベーション人材養成コース	神経・運動器・脊椎臨床医学演習	1～2通	2		
		眼科疾患学演習	1～2通	2		
		神経耳科学的検査法とリハビリテーション	1～2通	2		
		顎口腔機能病態学演習	1～2通	2		
		血液浄化療法学演習・実習	1～2通	2		
		病理診断学演習	1～2通	2		
		腫瘍形態学演習・実習	1～2通	2		
		医療サービス統計論演習	1～2通	1		
		医療サービス知識創造論演習	1～2通	1		
		医療サービスイノベーション演習Ⅰ	1～2通	1		
		医療サービスイノベーション演習Ⅱ	1～2通	1		
		専門技術学研究	1～2通	8		
		小計（12科目）	—	8	18	0

コース別研究科目	生命倫理コーディネーターコース	生命倫理コーディネーター基礎演習	1～2通		2		
		疫学倫理コーディネーター基礎演習	1～2通		2		
		生殖倫理コーディネーター基礎演習	1～2通		2		
		医療サービスサイエンス基礎演習	1～2通		2		
		動物福祉コーディネーター基礎演習	1～2通		2		
		生命倫理コーディネーター研究	1～2通	8			
		小計（6科目）	—	8	10	0	
合 計(106科目)			—	36	190	—	

5. 履修方法及び修了要件

【履修方法】

- 「研究基盤共通科目」について、専攻必修の講義として、5科目10単位を履修。
ただし、生物系以外の学部出身者については基礎細胞生物学を含む6科目12単位を履修。
- 「研究基盤選択共通科目」について、3科目6単位以上を選択履修。ただし、生命科学研究者育成コースの者は医学獣医学総合研究科博士課程の2科目4単位（サイエンスコミュニケーション特論、先端的医学獣医学特論）、生命倫理コーディネーターコースの者は社会環境疫学・医療統計学、医療関連法規2科目4単位を選択すること。
- 「コース別研究科目」について、各コースに設定された演習・実習科目の中から3科目6単位以上、研究（8単位）を履修。
- 高度医療関連技師・サービスイノベーション人材養成コースのうち、サービスイノベーション人材の研究指導を受ける者は「研究基盤共通科目」について専攻必修の講義として、5科目10単位を履修。「研究基盤選択共通科目」について、社会環境疫学・医療統計学又は医療関連法規のどちらか1つ及び医療サービスイノベーション論、医療サービス統計論、医療サービス知識創造論の4科目8単位を履修。「研究科目」について、医療サービス統計論演習、医療サービス知識創造論演習、医療サービスイノベーション演習Ⅰ、医療サービスイノベーション演習Ⅱ及び生命倫理コーディネーターコースの医療サービスサイエンス基礎演習の5科目6単位以上、研究(8単位)を履修。

【修了要件】

修士課程に2年以上在学し、30単位以上（生物系以外の学部出身者及びサービスイノベーション人材の研究指導を受ける者は32単位以上）を修得し、必要な研究指導を受け、かつ本研究科が行う修士論文審査及び最終試験に合格することを修了要件とする。本専攻を修了した者には、修士（医科学）又は修士（動物医科学）が与えられる。

宮崎大学大学院 医学獣医学総合研究科

医学獣医学専攻（博士課程）アドミッションポリシー

1. 教育理念（教育理念・目標、育成する人材像）

本専攻の使命は、医学・獣医学の発展と社会の福祉の向上に寄与することです。各コースでは、以下を備えた人材を育成します。

1. 高度臨床医育成コース

高度の専門性が必要とされる医療業務に必要な診断・治療技術と高い倫理観に裏打ちされた専門性、医学、獣医学、その他の生物学的研究に関する幅広い基礎知識とそれに裏打ちされた医療情勢の変化に対応する能力、動物実験などの臨床研究遂行に必要な知識と経験や人獣共通感染症に関する幅広い知識等に裏打ちされた研究能力を有する高度専門職業人としての臨床医を育成する。

2. 高度獣医師育成コース

伴侶動物や産業動物の健康を管理するために必要な高度な診断技術と治療法及び研究能力を身につけた獣医師及び指導的獣医師、また、食肉衛生、家畜衛生及び公衆衛生関係で働く獣医師に対して指導できる高度獣医師を育成する。

3. 研究者育成コース

医学、獣医学及び他の生物学的研究に関する幅広い基礎知識、様々な基礎研究の遂行に必要な動物実験等の知識と実験手技、自立した研究者として様々な情勢の変化に対応しながら研究を進める能力を有し、医学、獣医学、及び両分野に関連した研究領域で国際的に活躍できる研究者を育成する。

2. 入学者受け入れ方針（求める人材像）

本専攻は、高度専門職業人としての医師、獣医師及び研究者・教育者の養成を主眼とし、医学・獣医学の分野において自立して研究活動を行うのに必要な高度の研究能力とその基礎となる豊かな学識を養うことを目的とします。

したがって、本専攻では、次のような人材を求めています。

1. 高度臨床医育成コース

医学、獣医学を含めた生物学的研究に関する幅広い基礎知識を基盤とした優れた研究能力をもちつつ、日進月歩の勢いで発展する医科学に対しても的確に対応できる能力、さらには崇高な倫理観に裏打ちされた高度な臨床的専門性を持った指導的臨床医を志す人材（医師）を求めます。

2. 高度獣医師育成コース

すでに獣医師として現場で活躍しつつ、より高度な専門技術と研究能力を身につけたいという明確な目的意識を有する人材、あるいは産業動物獣医師の指導に当たる農業共済組合等や家畜衛生、公衆衛生関係の官公庁に所属し指導的獣医師として活躍したい人材を求めます。新規卒業生においては、学部教育で培われた知識や技術をさらに発展させ、より高度な専門性を求めるモチベーションの高い人材を求めます。

3. 研究者育成コース

幅広い基礎知識や社会変化に対応する能力を有して自立した研究者として、医学、獣医学及び両分野に関連した研究領域で国際的に活躍する研究者及び教育者を志す人材を求めます。本コースでは、医学部、獣医学部を卒業した者だけでなく、歯学・薬学部を卒業した学生や、他の研究分野の修士課程修了者など他分野で培った専門能力を基盤として、生命科学分野での学際的研究を開拓し、将来、人々の福祉と健康増進に寄与することを志す人材も積極的に受け入れます。

3. 入学者選抜の基本方針

1. 求める学生像に沿って、受験者のアカデミックバックグラウンドやキャリアを参考にしつつ、受験者が希望する研究テーマや目標、本博士課程修了後に目指すもの等を考慮し、総合的に選抜します。

2. 客観的で透明性のある方法によって、公平に選抜します。

社会人学生に対する修学上の配慮

昼夜開講による夜間履修について

本研究科においては、大学院設置基準第 14 条「教育方法の特例」を適用し、有職者が離職することなく修学することが可能となるよう、昼夜開講します。

なお、受講時間及び研究時間は指導教員との協議の上、設定します。

長期履修学生制度について

この制度は、学生が職業を有している等の事情により、標準修業年限（博士課程 4 年）を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し、修了することができる制度です。

希望される場合は、授業料を納入する前に長期履修生としての申請手続きをすることになっています。授業料納入後の申請は認められませんので、注意してください。

上記の詳細（メリット等）は下記ホームページアドレスをご覧ください。

<http://www.miyazaki-u.ac.jp/ijudaigakuin/>

国費外国人留学生・政府派遣留学生秋季入学(10 月入学) について

国費外国人留学生並びに政府派遣留学生を対象に 10 月入学を実施しています。

【問合せ先】

〒889-1692 宮崎県宮崎市清武町木原 5200

宮崎大学医学部学生支援課入試係

電話 (0985) 85-8970(直通) FAX (0985) 85-0693

平成 30 年度学生募集要項医学獣医学専攻 (博士課程)

1. 入試日程

区 分	1 次 募 集	#2 次 募 集 (予定)
出 願 期 間	平成29年 8月17日 (木)	平成29年12月11日 (月)
	平成29年 8月23日 (水)	平成29年12月15日 (金)
試 験 日	平成29年 9月11日 (月)	平成30年 1月 5日 (金)
合 格 発 表	平成29年10月13日 (金)	平成30年 2月 8日 (木)

※ 1次募集の結果により充足率等を勘案し2次募集を実施しない場合もあります。

2. 募集人員

医学獣医学専攻 23 人 (含む外国人留学生特別選抜 若干人)

3. 医学獣医学専攻の概要

医学獣医学専攻 (Doctoral Course for Medicine and Veterinary Medicine) では、医学と獣医学が連携・融合することにより、医学、獣医学に関する広範な知識に基づいた総合的判断力と高度な研究能力を備え、技術・知識基盤社会の形成に資する国際的に活躍できる医学・獣医学研究者及び教育者、また、高度な研究マインドに裏打ちされた質の高い指導的臨床医並びに獣医師の養成を目指します。

また、医学と獣医学が連携・融合して総合的な教育研究を行い、地域の要請に応えるとともに、地球規模での課題解決に貢献できる人材養成を目指します。

このような人材を養成することにより、21 世紀の喫緊の課題である新興・再興感染症対策を始めとする医学・獣医学分野の諸課題の解決と人類の健康と福祉の向上に貢献します。

4. 出願資格

一般選抜 (社会人選抜を含む)

- (1) 大学の医学、歯学又は修業年限 6 年の獣医学、薬学を履修する課程を卒業した者及び平成 30 年 3 月卒業見込みの者
- (2) 外国において、学校教育における 18 年の課程 (最終の課程は医学、歯学、獣医学又は薬学) を修了した者及び平成 30 年 3 月までに修了見込みの者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 18 年の課程 (最終課程は、医学、歯学、獣医学又は薬学) を修了した者及び平成 30 年 3 月までに修了見込みの者

- (4) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 18 年の課程（最終課程は、医学、歯学、獣医学又は薬学）を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び平成 30 年 3 月までに修了見込みの者
- (5) 大学（医学、歯学又は修業年限 6 年の獣医学、薬学を履修する課程を含むものに限る。）に 4 年以上在学し、本研究科が、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者
- (6) 文部科学大臣の指定した者（昭和 30 年文部省告示第 39 号に該当する者）
 - 1) 旧大学令（大正 7 年勅令第 388 号）による大学の医学、歯学の学部において医学又は歯学を履修し、これらの学部を卒業した者
 - 2) 防衛庁設置法（昭和 29 年法律第 164 号）による防衛医科大学校を卒業した者及び平成 30 年 3 月卒業見込みの者
 - 3) 修士課程を修了した者及び修士の学位の授与を受けることのできる者並びに前期 2 年及び後期 3 年の課程の区分を設けない博士課程に 2 年以上在学し、30 単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた者（学位規則の一部を改正する省令（昭和 49 年文部省令第 29 号）による改正前の学位規則（昭和 29 年文部省令第 9 号）第 6 条第 1 号に該当するものを含む。）で本研究科が、医学、歯学、獣医学又は薬学の学部（修業年限 6 年の課程）を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者
- (7) 外国において学校教育における 16 年の課程（医学、歯学、獣医学又は薬学を履修する課程を含むものに限る。）を修了し、本研究科が、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者
- (8) 学校教育法第 102 条第 2 項の規定により大学院（医学、歯学、獣医学又は薬学を履修する課程を含むものに限る。）に入学した者にあつては、本学研究科において、研究科における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者
- (9) 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学（医学、歯学又は修業年限 6 年の獣医学、薬学を履修する課程を含むものに限る。）を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、平成 30 年 3 月 31 日までに 24 歳に達する者
- (10) その他本研究科が、大学の医学部医学科、歯学部、獣医学部（獣医学科を含む）及び薬学部（修業年限 6 年の課程に限る）のいずれかを卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

外国人留学生特別選抜

上記(1)～(10)の出願資格のいずれかに該当する者で、外国の国籍を有する者のうち、出入国管理及び難民認定法において大学の入学に支障のない在留資格を有する者又は取得できる見込みの者

5. 出願資格認定

前記「4. 出願資格」の(5)、(7)、(9)、(10)により出願する者は、事前に出願資格の審査を受け、出願資格を有することが認定された者のみ出願することができますので、医学部学生支援課入試係（電話(0985)-85-8970「直通」）に問い合わせの上、次の書類を提出し、出願資格の認定を受けてください。

(1) 受付期間

1次募集 平成29年 7月14日（金）～平成29年 7月21日（金）17時必着

#2次募集 平成29年11月17日（金）～平成29年11月24日（金）17時必着（予定）

※土曜日・日曜日及び祝日を除く

(2) 提出書類

ア. 出願資格(5)による者

提出書類	摘要
出願資格認定申請書	本研究科所定の用紙
在学証明書	出身学校の長が作成したもの
成績証明書	出身学校の長が作成したもの
出願理由書	書式自由
受験許可書(2)（在学している大学の学長又は学部長が発行するもの）	本研究科所定の用紙

イ. 出願資格(7)、(9)、(10)による者

提出書類	摘要
出願資格認定申請書	本研究科所定の用紙
最終学校の卒業（見込）又は修了（見込）証明書	出身学校の長が作成したもの
成績証明書	出身学校の長が作成したもの
研究内容証明書	本研究科所定の用紙
業績調書（共著の論文、著書を含む。）	本研究科所定の用紙

(3) 郵送の場合

「書留」又は「簡易書留」の郵便とし、封筒の表に「出願資格認定申請書類在中」と朱書きしてください。

(4) 認定方法及び結果通知

出願資格の認定結果は、提出書類に基づき審査し、下記の期日までに本人に通知します。

1次募集 平成29年 8月 7日（月）

#2次募集 平成29年12月 7日（木）（予定）

6. 出願手続及び方法

(1) 出願期間

1次募集 平成29年 8月17日（木）～平成29年 8月23日（水）17時必着

#2次募集 平成29年12月11日（月）～平成29年12月15日（金）17時必着（予定）

- ① 受付時間は、土曜日及び日曜日・祝日を除く、8時30分から17時00分までとします。
- ② 郵送の場合 「書留」又は「簡易書留」の郵便とし本学所定の封筒で送付してください。
- ③ 持参の場合 宮崎大学医学部学生支援課入試係（清武キャンパス）へ持参してください。

(2) 出願書類等

書 類 等	摘 要
入 学 志 願 票	・ 本研究科所定の用紙に必要事項を記入してください。
受 験 票 ・ 写 真 票	・ 出願前3か月以内に撮影した写真（縦4cm・横3cm）を「受験票」及び「写真票」の所定の欄に貼付し提出してください。（本研究科所定の用紙）
成 績 証 明 書	・ 出身大学（学部）長が作成し厳封したもの。なお、大学院研究科修士課程修了（見込）者については研究科長が作成し、厳封したものを提出してください。 ・ 上記証明書が、日本語及び英語以外の場合は、日本語訳又は英語訳を添付してください。 ・ 出願資格認定時に提出された場合は、必要はありません。
卒業（見込）証明書 修了（見込）証明書	・ 出身大学が作成したもの。 ・ 上記証明書が、日本語及び英語以外の場合は、日本語訳又は英語訳を添付してください。 ・ 出願資格認定時に提出された場合は、必要はありません。
推 薦 書 等	・ 外国人留学生特別選抜で出願する人は、外国政府、駐日外国公館の推薦書又は外務省、在外公館の紹介状あるいは現在所属している大学研究機関等の推薦状を提出してください。
住民票の写し	・ 本邦に在留している外国人で出願する人は、市区町村長の発行する住民票の写しを提出してください。
受験許可書（1） 受験許可書（2）	・ 大学、大学院に在学中の人又は官公署、会社等に在職中の人は、当該所属長の受験許可書(1)を、昼夜開講制を希望する人で在職のまま在学しようとする人は、受験許可書(2)を提出してください。（本研究科所定の用紙） ・ 平成30年3月に（卒業・修了）見込の場合は必要ありません。
検 定 料 (30,000円)	・ 本研究科所定の振込依頼書を使用し、検定料を納入すること。ただし、本学大学院研究科修士課程を修了し、引き続き本研究科博士課程に進学する人及び国費外国人留学生は、必要ありません。 ・ ※検定料振込用紙は、修士課程・博士課程が別となっておりますので、ご注意ください。

振込証明書貼付台紙	・ 本研究科所定の用紙を使用し、検定料振込証明書（C票）を貼付してください。
宛 名 票	・ 合格通知等の際に使用しますので「氏名、住所、郵便番号」を明記してください。（本研究科所定の用紙）
受験票送付用封筒	・ 定形の封筒に郵便番号・あて名を明記し、郵便切手(362円)を必ず貼付してください。

(注) 高度臨床医育成コース、高度獣医師育成コースによる出願者は、上記の出願書類の外に、下記書類を併せて提出してください。

免許証の写し	・ 医師、獣医師の免許証の写しをA4サイズに縮小して提出してください。 ・ 平成30年3月に卒業見込の場合は必要ありません。
--------	---

※ 出願に際しての留意事項

- ① 黒のボールペンを使用し、省略しないで正確に記入してください。
- ② ＊欄は記入しないでください。また、氏名及び生年月日は戸籍上のものを記入してください。
- ③ 出願書類等は一括して取りそろえ、出身大学長を経て提出するか、又は本人が直接提出してください。なお、書類不備のものは受け付けませんので、記入もれや誤記等がないように十分注意してください。
- ④ 出願に際しては、予め志望するコース（29～34 頁）の各所属講座分野等の代表教員に照会してください。
- ⑤ 出願手続等について不明な点があるときは、本学医学部学生支援課入試係に照会してください。
- ⑥ 出願書類の記載事項と事実が相違していることが判明した場合は、入学を取り消すことがあります。
- ⑦ 出願書類の受付後、記入事項の変更及び書類の変更は認めません。また、いかなる理由があっても受付後の出願書類の返還はしません。
- ⑧ 国費留学生は、国費外国人留学生証明書（出身大学が作成したもの）を提出してください。
- ⑨ 障害等のある入学志願者については、41 頁「障害等のある入学志願者の事前相談」をご確認ください。
- ⑩ 出願書類を受理した後は、以下の場合を除き、振り込み済の検定料は返還いたしません。
 - 検定料を振り込んだが本学に出願しなかった（出願書類等を提出しなかった又は出願が受理されなかった）場合
 - 検定料を誤って二重に振り込んだ場合

――返還請求の方法――

検定料返還請求願（様式は問いません。返還請求理由、氏名（フリガナ）、現住所、電話番号、検定料返還先銀行口座情報（銀行名、支店名、口座種別、口座番号、口座名義（カタカナ）を明記したもの）を作成し、必ず「C票検定料振込証明書」を添付のうえ、以下宛へ平成30年3月31日（必着）までに、速やかに郵送してください。平成30年4月1日以降に申し出られた場合、返還に応じることはできませんのでご了承ください。

〒889-2192 宮崎市学園木花台西1丁目1番地
宮崎大学財務部財務課出納係
電 話 (0985) 58-7122

7. 出願書類等提出先及び照会先

〒 889-1692 宮崎県宮崎市清武町木原 5200
宮崎大学医学部学生支援課入試係
電話 (0985) 85-8970 (直通) FAX (0985) 85-0693

8. 入学者選抜方法

(1) 一般選抜（社会人選抜を含む）

選考は、提出された書類審査及び口述試験により行います。

(2) 外国人留学生特別選抜

選考は、書類審査及び口述試験により行います。

※海外在住の志願者については、渡日前入試を実施します。口述試験の受験方法はインターネット等を利用した受験とします。

なお、この入試方法を希望する場合は、事前に希望する指導教員と十分に相談の上申し込むこと。

(3) 学力検査等の実施期日

期 日	科 目 等	時 間	備 考
1次募集 平成29年 9月11日（月） #2次募集 平成30年 1月 5日（金）（予定）	口述試験	13:00～17:00	専門分野の基礎的知識等に関する質問を含む

※ 試験当日の集合時間は12時40分を予定しています。

詳細については、受験票送付時に案内します。

(4) 試験場

宮崎大学清武キャンパス

※試験場の詳細については、受験票送付時に案内します。

9. 合格者の発表及び通知

(1) 合格発表

日 時 1次募集 平成29年10月13日(金) 午前10時
 #2次募集 平成30年 2月 8日(木) 午前10時(予定)
 場 所 宮崎大学医学部講義実習棟玄関横掲示板

(2) 合格通知

合格者には合格通知書を送付します。電話による可否の問い合わせには応じません。

10. 入学手続

① 入 学 料 292,000 円

② 授 業 料年額 535,800 円(前期 267,900 円 後期 267,900 円)

○本学が指定した期間中に手続を行わなかった者は、入学辞退者として取扱います。

○入学料及び授業料は法令改正等により金額が変更になる場合があります。

○入学料は入学手続までに納入してください。

○納入された入学料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還できません。

i. 入学手続をしなかった場合

ii. 入学料を誤って二重に払い込んだ場合

○在学中に授業料の改正が行われた場合は、改定時から新授業料が適用されます。

○長期履修生の授業料は、正規修業年限の授業料合計額を申請された履修年数で按分した額を年度毎に納入することになっています。

○授業料の納付は新学期開始後になります。

○授業料の納入は、原則として、預金口座からの「口座振替」とします。

前期の口座振替日は初年度は5月下旬頃、次年度以降は4月下旬頃の予定です。

後期の講座振替日は10月下旬頃の予定です。

<http://www.miyazaki-u.ac.jp/education/campus/jugyou/>

③ 入学手続

・入学手続期間：2月上旬から3月下旬

(入学手続書類等の詳細は、合格通知書と一緒に郵送により通知します。)

医学獣医学専攻（博士課程）案内

1. 修業年限

標準修業年限は 4 年とする。ただし、極めて優れた業績を挙げた人にあつては、大学院設置基準第 17 条第 1 項ただし書きの規定により、3 年以上の在学で足りるものとします。

2. 履修コース

(1) 高度臨床医育成コース

(Training course for physicians with professional skills)

「高度臨床医育成コース」は、高い倫理観を有する専門性の高い診断・治療技術に裏打ちされた高度な研究マインドを持った指導的臨床医の育成を目的としています。

このコースは、臨床と研究をバランスよく経験することにより、双方の能力を兼ね備えた高度臨床医を育成するもので、各医学専門学会での専門医認定資格を視野に入れた臨床技術の修得が可能となっています。

※ 臨床腫瘍医（がん専門医）養成プログラムによるがんプロフェッショナル養成コース

本学が指定する科目を履修し、治療の一般原理を理解した上で、実際に、臨床現場でがん患者を担当することで、がんの診断・治療、臨床研究に必要な知識、技術の修得が可能なコースを設けています。

(2) 高度獣医師育成コース

(Training course for veterinarians with professional skills)

「高度獣医師育成コース」は、獣医診療において、医学の診断・検査法、治療法、手術方法を学び、その手法を履修することで、専門性の高い診断・治療技術を修得し、高度な研究マインドを有する指導的獣医師の育成を目的としています。

このコースは、獣医診療に軸足を置いた他に類を見ない特色あるコースとなっています。

(3) 研究者育成コース

(Training course for researchers of medical and veterinary science)

「研究者育成コース」は、国際的に活躍できる医学・獣医学の教育研究を担う人材育成を目的としています。

このコースは、本研究科における大学院教育の中核をなすものであり、学修課題を複数の科目等を通して体系的に履修するコースワークにより、将来研究者・教育者として自立するために必要な医学・獣医学の両分野にまたがる幅広い専門知識と、研究に必要な実験のデザイン等の研究手法や研究遂行能力の修得が可能となっています。

3. 各所属講座分野等の主たる研究内容及び代表教員

(1) 高度臨床医育成コース

所属講座分野等	主たる研究内容	代表教員
内科学講座循環体液制御学分野	循環器病学、腎臓病学、消化器病学と探索医療に関する研究	北村和雄
内科学講座消化器血液学分野	消化器疾患、血液疾患、腫瘍疾患に関する臨床的研究	下田和哉
内科学講座 神経呼吸内分泌代謝学分野	神経・呼吸・内分泌代謝疾患の診断と治療に関する基礎及び臨床的研究	中里雅光
内科学講座免疫感染病態学分野	感染症と免疫異常関連疾患の病態解析と治療に関する研究	岡山昭彦
消化器内科学講座	消化器疾患、主に胆膵疾患に関する臨床研究	河上洋
発達泌尿生殖医学講座小児科学分野		未定（※）
外科学講座肝胆膵外科学分野	肝胆膵外科関連疾患の病態と治療に関する研究	七島篤志
外科学講座心臓血管外科学分野	循環器・呼吸器・消化器・内分泌系における外科疾患に関する臨床的研究	中村都英
感覚運動医学講座整形外科分野	神経・運動器・脊椎疾患の病態解明と診断・治療に関する研究	帖佐悦男
感覚運動医学講座皮膚科学分野	各種皮膚病の診療に関する研究	天野正宏
発達泌尿生殖医学講座 泌尿器科学分野	各種泌尿器疾患の診療に関する研究	賀本敏行
臨床神経科学講座脳神経外科学分野	脳腫瘍・脳血管障害に関する臨床的研究	竹島秀雄
発達泌尿生殖医学講座 産婦人科学分野	周産期と産婦人科学領域における臨床的研究	鮫島浩
感覚運動医学講座眼科学分野	網膜硝子体疾患の診断と治療および網膜変性疾患患者のゲノム解析と臨床視覚電気生理学に関する研究	直井信久
感覚運動医学講座 耳鼻咽喉・頭頸部外科学分野	耳鼻咽喉・頭頸部領域の臨床的研究	東野哲也
病態解析医学講座放射線医学分野	画像診断を用いた臨床的研究	平井俊範
病態解析医学講座 麻酔生体管理学分野	臨床麻酔、ショック患者管理、ペインクリニックに関する研究	恒吉勇男
病態解析医学講座 救急・災害医学分野	侵襲に対する生体反応の臨床的研究	落合秀信
感覚運動医学講座 顎顔面口腔外科学分野	顎口腔領域の機能回復を目的とした再建や再生医療に関する研究	山下善弘

所属講座分野等	主たる研究内容	代表教員
臨床神経科学講座精神医学分野	中枢神経系の異常と行動に関する臨床研究	石田 康
病理学講座構造機能病態学分野	循環器疾患・腎疾患・血液疾患の病理診断学的研究	浅田 祐士郎
病理学講座腫瘍・再生病態学分野	固形癌の生物学と臨床病理学に関する研究	片岡 寛章

(2) 高度獣医師育成コース

所属講座分野等	主たる研究内容	代表教員
獣医病理学	ウイルス感染症の病理発生と病原性に関する研究	山口 良二
獣医病理学	細菌、真菌ならびに原虫感染症の病理診断と病理発生に関する研究	平井 卓哉
産業動物衛生学	動物の保健衛生および動物疾病の国際・国内防疫に関する臨床衛生学的研究	末吉 益雄
獣医微生物学	家畜におけるウイルス感染症に関する研究	岡林 環樹
獣医公衆衛生学	食品由来感染症の病原細菌を対象としたゲノムレベルでの病原性の発現や生存様式に関する研究	三澤 尚明
獣医公衆衛生学	人獣共通感染症・越境性動物感染症の集団発生時における危機管理ならびに制御に関する研究	山崎 渉
獣医外科学	動物の創傷治癒に関する研究	日高 勇一
獣医内科学 産業動物内科学	栄養学的アプローチと疾病コントロールに関する研究	片本 宏
産業動物臨床繁殖学	最新の発情・排卵同期化法に関する研究	大澤 健司
産業動物臨床繁殖学	産業動物の繁殖機能における臨床評価に関する研究	北原 豪
獣医臨床放射線学	放射線利用診断学と放射線治療学に関する研究	浅沼 武敏
獣医臨床放射線学	神経疾患に対するMRIを中心とした画像診断装置および脳脊髄液解析の臨床応用に関する研究	佐藤 裕之
獣医寄生虫病学	人獣共通寄生虫病の感染源動物を対象として、診断法開発、疫学調査、感染源対策についての研究	野中 成晃

所属講座分野等	主たる研究内容	代表教員
獣医寄生虫病学	寄生虫症の血清疫学に関する研究	吉田彩子
動物病院	獣医麻酔学および獣医眼科学に関する新規治療法の開発および臨床応用研究	永延清和
動物病院	最新の消化器疾患の診断方法・治療法に関する研究	鳥巢至道
産業動物伝染病防疫学	国内外での産業伝染病防疫に関して予防、診断、対策を基礎とする研究	乗峰潤三
産業動物伝染病防疫学	重要家畜伝染病に対する効果的な防疫戦略の構築に関する研究	関口敏

(3) 研究者育成コース

所属講座分野等	主たる研究内容	代表教員
解剖学講座組織細胞化学分野	ステロイドを介したミトコンドリアによる細胞制御機構の研究	菱川善隆
解剖学講座超微形態科学分野	電子顕微鏡を活用した細胞の微細構造と機能に関する研究	澤口朗
解剖学講座神経生物学分野	急性及び慢性疼痛の発生機序とその制御に関する研究	池田哲也
機能制御学講座統合生理学分野	高次脳神経機能—特に学習・記憶—における神経可塑性の分子機能に関する研究	高宮考悟
機能制御学講座応用生理学分野	蛋白質、酵素、酵素阻害剤等による組織改変を含む生体制御とその病態生理に関する研究	丸山眞杉
フロンティア科学実験総合センター 実験支援部門RⅠ分野	遺伝情報発現システムのゲノム科学・分子遺伝学的解析に関する研究	剣持直哉
機能制御学講座腫瘍生化学分野	がん及び各種疾患のゲノム解析、生体情報制御、転写調節及び幹細胞研究	森下和広
機能制御学講座機能生化学分野	タンパク質の機能とその破綻による疾患の分子メカニズムに関する研究	西頭英起
機能制御学講座薬理学分野	細胞骨格による生体の恒常性維持機能	武谷立
機能制御学講座物質科学分野	化学的アプローチによるヒトテロメア構造・機能の解明、がん分子標的治療法の開発	徐岩
機能制御学講座蛋白質機能学分野	蛋白質の立体構造を基盤とした生命化学研究	和田啓
フロンティア科学実験総合センター 生理活性研究部門 生理活性物質機能解析分野	生理活性ペプチドによる摂食およびエネルギー代謝調節に関する研究	秋枝さやか

所属講座分野等	主たる研究内容	代表教員
フロンティア科学実験総合センター 生理活性研究部門 生理活性物質探索病態解析分野	生理活性物質の探索および分子レベルの機能解析と疾患病態に関する研究	加藤 丈 司
病理学講座構造機能病態学分野	循環器・血液疾患の発生病理、病理診断学に関する研究	浅田 祐 士 郎
病理学講座腫瘍・再生病態学分野	腫瘍生物学および再生現象における分子機構に関する研究	片岡 寛 章
感染症学講座微生物学分野	プリオン病を中心としたタンパク異常凝集が引き起こす疾患群の構造学的・病理学的解析と診断・治療法開発に関する研究	新 竜 一 郎
感染症学講座寄生虫学分野	寄生虫病の診断法開発、ならびに寄生虫と宿主の相互作用に関する研究	丸 山 治 彦
感染症学講座免疫学分野	免疫応答における樹状細胞機能の役割に関する研究	佐藤 克 明
社会医学講座公衆衛生学分野	公衆衛生学に含まれる疫学、予防医学、産業保健および環境保健学に関する研究	黒 田 嘉 紀
社会医学講座法医学分野	法医解剖診断、水棲細菌を指標とした溺死診断、薬毒物の代謝・中毒に関する研究	湯 川 修 弘
医療情報部	医療情報の活用に関する研究	荒 木 賢 二
内科学講座循環体液制御学分野	循環器・腎臓・高血圧・消化器疾患と生理活性物質に関する研究	北 村 和 雄
内科学講座消化器血液学分野	血液病学、消化器内科学、腫瘍学に関する基礎研究	下 田 和 哉
内科学講座神経呼吸内分泌代謝学分野	タンパクとペプチドの精製・構造解析決定とその機能解析に関する研究	中 里 雅 光
内科学講座免疫感染病態学分野	ヒトにおけるウイルス感染症及び自己免疫疾患の解析に関する研究	岡 山 昭 彦
消化器内科学講座	消化器疾患、主に胆膵疾患の病態の解明に関する研究	河 上 洋
外科学講座肝胆膵外科学分野	肝胆膵外科疾患の病態の解明に関する研究	七 島 篤 志
外科学講座心臓血管外科学分野	循環器・呼吸器・消化器内分泌外科学に関する研究	中 村 都 英
発達泌尿生殖医学講座泌尿器科学分野	泌尿器疾患の病因に関する研究。特に泌尿器腫瘍の進展、転移に関する研究	賀 本 敏 行
臨床神経科学講座脳神経外科学分野	脳腫瘍の遺伝子異常とエピジェネティック異常に関する研究	竹 島 秀 雄

所属講座分野等	主たる研究内容	代表教員
発達泌尿生殖医学講座小児科学分野		未定（※）
発達泌尿生殖医学講座産婦人科学分野	産婦人科領域における基礎的研究（胎児の発生、発達の生理と病理など）	鮫島 浩
感覚運動医学講座整形外科学分野	神経・運動器・脊椎疾患の病態解明と診断・治療法の開発に関する研究	帖佐悦男
感覚運動医学講座皮膚科学分野	皮膚科学における各種病態に関する研究	天野正宏
感覚運動医学講座 耳鼻咽喉・頭頸部外科学分野	耳鼻咽喉・頭頸部領域の感覚病態に関する研究	東野哲也
感覚運動医学講座 顎顔面口腔外科学分野	顎口腔機能および顎口腔病態に関する研究	山下善弘
病態解析医学講座放射線医学分野	画像診断を用いた基礎的・臨床的研究	平井俊範
病態解析医学講座麻酔生体管理学分野	麻酔、集中治療、疼痛機序に関する研究	恒吉勇男
病態解析医学講座救急・災害医学分野	侵襲に対する生体反応の臨床的研究	落合秀信
臨床神経科学講座精神医学分野	モノアミン神経その他、種々の脳内神経系に関する神経科学研究	石田 康
感覚運動医学講座眼科学分野	視覚電気生理学、ゲノム解析に関する研究	直井信久
薬剤部	医薬品の有効性・安全性に係る基礎的・臨床的研究	池田龍二
フロンティア科学実験総合センター 実験支援部門生物資源分野	ヒトの病態を代替するモデル動物の開発と維持に関する研究	越本知大
医療人育成支援センター	慢性糸球体腎炎の臨床病理学的解析に関する研究	小松弘幸
獣医解剖学	動物の免疫器官の形態学に関する研究	保田昌宏
獣医生理学	鳥類や哺乳動物の生体リズムに関する研究	中原桂子
フロンティア科学実験総合センター 実験支援部門遺伝資源分野	下垂体のインヒビンの分泌調節に関する研究	片山哲郎
獣医薬理学	腎臓薬理学、生体内物質輸送学、あるいは動物の遺伝性疾患に関する研究	池田正浩
獣医病理学	比較病理学に関する研究	山口良二

所属講座分野等	主たる研究内容	代表教員
獣医病理学	悪性腫瘍に発現する因子に関する研究	平井卓哉
産業動物衛生学	動物疾病の診断・治療・予防に関する研究	末吉益雄
獣医微生物学	ウイルス性人獣共通感染症に関する研究	岡林環樹
獣医公衆衛生学	人獣共通感染症に関する研究	三澤尚明
獣医公衆衛生学	食品微生物ならびに食中毒制御に関する研究	山崎 渉
獣医外科学	心血管系腫瘍の診断と治療に関する研究	日高勇一
獣医内科学 産業動物内科学	栄養・代謝性疾患の診断・治療に関する研究	片本 宏
産業動物臨床繁殖学	獣医周産期学に関する研究	大澤健司
産業動物臨床繁殖学	産業動物の繁殖内分泌制御に関する研究	北原 豪
獣医臨床放射線学	画像診断装置を利用した生体応答に関する研究	浅沼武敏
獣医臨床放射線学	神経疾患に対する診断法および治療法の新規開発に関する研究	佐藤裕之
獣医寄生虫病学	寄生虫感染の分子診断法の開発と疫学研究への応用に関する研究	野中成晃
獣医寄生虫病学	寄生虫症の診断法開発、宿主－寄生虫相互作用の解析に関する研究	吉田彩子
獣医機能生化学	人工多能性幹細胞（iPS細胞）を用いた動物再生医療に関する研究	西野光一郎
動物病院	獣医肝胆道系疾患に関する研究	鳥巢至道
産業動物伝染病防疫学	獣医伝染病病原体に対するワクチンの効果に対する評価および免疫防御の機序に関する研究	乗峰潤三
産業動物伝染病防疫学	重要家畜伝染病に対する監視システムや防疫対策の開発に関する研究	関口 敏
産業動物防疫リサーチセンター 感染症研究・検査部門	新規生理活性ペプチドの探索、単離・同定	井田隆徳

※代表教員が『未定』となっている分野を希望する場合は、事前に下記担当にご連絡ください。

宮崎大学医学部学生支援課入試係

電話（0985）85-8970（直通）

4. 教育課程等の概要（医学獣医学総合研究科 医学獣医学専攻）

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			授業形態			備 考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	
研究基盤科目	基盤的研究方法特論（Ⅰ）	1 通	2			○			
	基盤的研究方法特論（Ⅱ）	1 通	2			○			
	基盤的研究方法特論（Ⅲ）	1 通	1			○			
	医学獣医学研究特論	1・2 通	1			○			
	サイエンスコミュニケーション特論	1～3 通	2			○			
	先端的医学獣医学特論	1～3 通	2			○			
	小計（6 科目）	—	10	0	0	—			
高度臨床医育成コース	研究科目								
	研究特論（高度臨床医育成コース）	1・2 通	2			○			
	小計（1 科目）	—	2	0	0	—			
	特別研究科目（医学関係）								
	臨床病態制御学演習・実習	1～4 通		4			○		
	消化器・血液・腫瘍学の臨床実習	1～4 通		4				○	
	神経・呼吸器・内分泌代謝学臨床実習	1～4 通		4				○	
	感染症・膠原病学臨床実習	1～4 通		4				○	
	胆膵疾患診断学、治療学演習	1～4 通		4			○		
	小児疾患治療学演習	1～4 通		4			○		
	肝胆膵癌外科治療学演習	1～4 通		4			○		
	肝胆膵病態治療学演習	1～4 通		4			○		
	病態制御外科治療学演習	1～4 通		4			○		
	神経・運動器・脊椎臨床医学演習	1～4 通		4			○		
	皮膚疾患治療学演習・実習	1～4 通		4			○		
	泌尿器悪性腫瘍演習	1～4 通		4			○		
	泌尿器疾患病態生理演習	1～4 通		4			○		
	脳腫瘍治療学演習	1～4 通		4			○		
	脳血管疾患治療演習	1～4 通		4			○		
	周産期医学演習	1～4 通		4			○		
	婦人科腫瘍、内分泌学演習	1～4 通		4			○		
	眼科学演習	1～4 通		4			○		
	神経耳科診断学演習	1～4 通		4			○		
	難聴治療学演習	1～4 通		4			○		
	臨床画像診断学演習	1～4 通		4			○		
	麻酔学演習	1～4 通		4			○		

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			授業形態			備 考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	
高度臨床医育成コース	特別研究科目（医学関係）	救命救急治療学演習	1～4通	4			○		
		顎口腔機能病態学演習	1～4通	4			○		
		病態精神医学演習	1～4通	4			○		
		病理診断学演習	1～4通	4			○		
		腫瘍病理学演習	1～4通	4			○		
		小計（27科目）	—	0	108	0	—		
	研究指導科目	論文作成特別研究 （高度臨床医育成コース）	1～4通	6			○		
		小計（1科目）	—	6	0	0	—		
高度獣医師育成コース	研究科目	研究特論（高度獣医師育成コース）	1・2通	2			○		
		小計（1科目）	—	2	0	0	—		
	特別研究科目（獣医学関係）	感染病理学演習	1～4通	4			○		
		獣医分子病理学演習	1～4通	4			○		
		動物腸管感染症学演習	1～4通	4			○		
		動物感染症診断学演習	1～4通	4			○		
		獣医感染症制御学演習	1～4通	4			○		
		越境性動物感染症学演習	1～4通	4			○		
		食品衛生学演習	1～4通	4			○		
		牛整形外科学演習	1～4通	4			○		
		獣医創傷治療学演習	1～4通	4			○		
		獣医栄養免疫学演習	1～4通	4			○		
		獣医生殖工学演習	1～4通	4			○		
		臨床放射線学演習	1～4通	4			○		
		獣医画像応用学演習	1～4通	4			○		
		獣医寄生虫病制御学演習	1～4通	4			○		
		人獣共通寄生虫病公衆衛生学演習	1～4通	4			○		
		獣医麻酔学特別演習	1～4通	4			○		
		獣医防疫学演習	1～4通	4			○		
		獣医消化器疾患臨床実習	1～4通	4			○		
		小計（18科目）	—	0	72	0	—		
	研究指導科目	論文作成特別研究 （高度獣医師育成コース）	1～4通	6			○		
		小計（1科目）	—	6	0	0	—		

科目 区分		授業科目の名称	配当 年次	単位数			授業形態			備 考
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	
研究者育成コース	高度専門医研究科目	研究特論(研究者育成コース)	1・2通	2			○			
		小計(1科目)	—	2	0	0		—		
研究者育成コース	特別研究科目(医学関係)	分子細胞生物学演習	1～4通		4			○		
		超微形態学演習	1～4通		4			○		
		疼痛学演習	1～4通		4			○		
		分子神経科学演習	1～4通		4			○		
		生体制御解析学演習	1～4通		4			○		
		ゲノム科学演習	1～4通		4			○		
		腫瘍ゲノム発生演習	1～4通		4			○		
		生体システム制御学演習	1～4通		4			○		
		細胞情報機能学演習	1～4通		4			○		
		蛋白質構造学演習	1～4通		4			○		
		発生生物学演習	1～4通		4			○		
		病態医化学演習	1～4通		4			○		
		生体情報制御学演習	1～4通		4			○		
		循環病理学演習	1～4通		4			○		
		腫瘍細胞生物学演習	1～4通		4			○		
		病原・常在微生物学演習	1～4通		4			○		
		寄生生物学演習	1～4通		4			○		
		公衆衛生学演習	1～4通		4			○		
		環境保健学演習	1～4通		4			○		
		先端医学研究倫理学演習	1～4通		4			○		
		法医学解剖診断学演習	1～4通		4			○		
		医療情報学演習	1～4通		4			○		
		病態制御学演習・実習	1～4通		4			○		
		分子病態学演習	1～4通		4			○		
		神経・呼吸器・内分泌代謝学演習	1～4通		4			○		
		ウイルス発癌病態解析学演習	1～4通		4			○		
		病態制御消化器内科学演習	1～4通		4			○		
		肝疾患病態制御演習	1～4通		4			○		
		腫瘍機能制御外科学演習	1～4通		4			○		
		病態制御外科学演習	1～4通		4			○		
		悪性腫瘍泌尿器科学演習	1～4通		4			○		
		神経腫瘍学演習	1～4通		4			○		

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			授業形態			備 考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	
研究者育成コース	特別研究科目（医学関係）	小児科学演習	1～4通	4			○		
		周産期脳障害の発症と予防演習	1～4通	4			○		
		神経・運動器・脊椎病態学演習	1～4通	4			○		
		皮膚科学演習・実習	1～4通	4			○		
		聴覚生理・病態学演習	1～4通	4			○		
		顎口腔再建外科学演習	1～4通	4			○		
		画像診断学演習	1～4通	4			○		
		血管平滑筋反応学演習	1～4通	4			○		
		急性病態解析学演習	1～4通	4			○		
		神経生理学演習	1～4通	4			○		
		慢性糸球体腎炎解析演習	1～4通	4			○		
		薬物動態学演習	1～4通	4			○		
		実験動物学演習	1～4通	4			○		
		分子生命化学演習	1～4通	4			○		
		免疫生物学演習	1～4通	4			○		
		生理活性ペプチド探索演習	1～4通	4			○		
	特別研究科目（獣医学関係）	野生動物保護特別演習	1～4通	4			○		
		動物神経生理学演習	1～4通	4			○		
		分子内分泌生理学演習	1～4通	4			○		
		生体内物質輸送学特別演習	1～4通	4			○		
		比較病理学演習	1～4通	4			○		
		獣医腫瘍病理学演習	1～4通	4			○		
		動物衛生学演習	1～4通	4			○		
		獣医病原細菌学演習	1～4通	4			○		
		獣医感染病態学演習	1～4通	4			○		
		人獣共通感染症学演習	1～4通	4			○		
		食品微生物学演習	1～4通	4			○		
		獣医循環器画像診断学演習	1～4通	4			○		
		獣医心血管系腫瘍学演習	1～4通	4			○		
		動物臨床栄養学演習	1～4通	4			○		
		獣医繁殖内分泌学特別演習	1～4通	4			○		
		放射線基礎獣医学特別演習	1～4通	4			○		
		獣医神経疾患診断学特別演習	1～4通	4			○		

科目 区分		授業科目の名称	配当 年次	単位数			授業形態			備 考
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	
研究者育成コース	特別研究科目 (獣医学関係)	獣医寄生虫免疫学演習	1～4通		4			○		
		獣医寄生虫病学演習	1～4通		4			○		
		獣医機能生化学演習	1～4通		4			○		
		獣医伝染病学演習	1～4通		4			○		
		獣医肝胆道系疾患病態制御演習	1～4通		4					
		小計 (71 科目)	—	0	284	0		—		
	研究指導科目	論文作成特別研究 (研究者育成コース)	1～4通	6				○		
		小計 (1 科目)	—	6	0	0		—		
科目	論文作成	論文作成演習 (語学)	2～4通			4		○		
		小計 (1 科目)	—	0	0	4		—		
合 計(129 科目)			—	34	464	4		—		

5. 履修方法及び学位授与

本研究科（高度臨床医育成コース、高度獣医師育成コース及び研究者育成コースとも）に、原則として4年以上在学し、指導教員の下、次に定める単位（30単位以上）を修得し、学位論文の審査及び最終試験に合格した人に、博士（医学）又は博士（獣医学）の学位を授与します。

- ・ 研究基盤科目（必修） 10単位 ・ 特別研究科目（選択） 12単位以上
- ・ 研究科目（必修） 2単位 ・ 研究指導科目（必須） 6単位

共通事項

1. 障害等のある入学志願者の事前相談

以下のような障害等があり、受験上及び修学上の配慮を必要とする人は、出願書類提出前に本学学生支援部入試課へ相談してください。

①相談時期

募集の出願開始日の3週間前までとしますが、出願の有無に関わらず、できるだけ早い時期に相談してください。

ただし、期限後に不慮の事故等により障害等を有することとなった場合は、その際に相談してください。

②相談方法

相談申請書(様式任意)に次の内容を記載し、医師の診断書等を添えて提出してください。
(郵送可)

- ア 志願者氏名・コース・領域
- イ 障害等の種類・程度
- ウ 受験上・修学上の配慮を希望する事項
- エ 出身学校でとられていた配慮事項
- オ 日常生活の状況
- カ 住所及び連絡先の電話番号

なお、必要な場合は、本学において志願者又はその立場を代弁し得る関係者との面談等を行うこともあります。

③相談先

〒889-2192 宮崎市学園木花台西1丁目1番地
宮崎大学学生支援部入試課
電 話 (0985)-58-7138
F A X (0985)-58-2965

区 分	障害の程度
①視覚障害	両眼の視力がおおむね0.3未満のもの又は視力以外の視機能障害が高度のもの のうち、拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が 不可能又は著しく困難な程度のもの
②聴覚障害	両耳の聴力レベルがおおむね60デシベル以上のもののうち、補聴器等の使用 によっても通常の話を解することが不可能又は著しく困難な程度のもの

③肢体不自由	1. 肢体不自由の状態が補装具の使用によっても歩行、筆記等日常生活における基本的な動作が不可能又は困難な程度のもの 2. 肢体不自由の状態が前号に掲げる程度に達しないもののうち、常時の医学的観察指導を必要とする程度のもの
④病弱	1. 慢性の呼吸器疾患、腎臓疾患及び神経疾患、悪性新生物その他の疾患の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度のもの 2. 身体虚弱の状態が継続して生活規制を必要とする程度のもの
⑤発達障害	自閉症、アスペルガー症候群、広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害のため配慮を必要とするもの
⑥その他	①～⑤の区分以外の者で配慮を必要とするもの

備考 1. 視力の測定は、万国式試視力表によるものとし、屈折異常があるものについては、矯正視力によって測定する。

2. 聴力の測定は、日本工業規格によるオーディオメータによる。

2. 個人情報の取扱いについて

- (1) 個人情報については、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」及び「国立大学法人宮崎大学個人情報保護規則」に基づいて取り扱います。
- (2) 出願にあたってお知らせいただいた氏名、住所その他の個人情報については、①入学者選抜（出願処理、選抜実施）、②合格発表、③入学手続業務を行うために利用します。
- (3) 入学者選抜に用いた試験成績は、今後の入学者選抜方法の検討資料の作成のために利用します。
- (4) 上記（2）及び（3）の各種業務での利用に当たっては、一部の業務を本学より該当業務の委託を受けた業者において行うことがあります。
- (5) 出願にあたってお知らせいただいた個人情報は、入学者のみ①教務関係（学籍、修学指導等）、②学生支援関係（健康管理、就職支援、入学料免除、授業料免除、奨学金申請等）、③授業料徴収に関する業務を行うために利用します。

3. インターネットによる入試案内

宮崎大学大学院医学獣医学総合研究科では、インターネットを利用して入試情報を提供していますので、下記ホームページアドレスをご覧ください。

<http://www.miyazaki-u.ac.jp/ijudaigakuin/> 「医学獣医学総合研究科」

4. 入学科・授業料の免除及び徴収猶予

(1) 入学科免除

次のいずれかに該当する特別な事情により、納入が著しく困難であると認められる者は、本人の申請に基づき選考のうえ、入学科の全額又は半額を免除することがあります。

ただし、免除を希望しても「免除の対象者」に該当しない場合は申請できませんので、事前に担当係（学生生活支援課経済支援係（0985）-58-7976）へ必ず連絡してください。

- ① 経済的理由により入学科の納入が困難であり、かつ学業優秀と認められる場合
- ② 入学前1年以内において、本人の学資を主として負担している者が死亡した場合
- ③ 入学前1年以内において、本人若しくは本人の学資を主として負担している者が風水害等の災害を受けた場合
- ④ 前各号に準ずる場合であって、学長が相当と認める事由がある場合

(2) 入学科徴収猶予

次のいずれかに該当する場合は、本人の申請に基づき選考のうえ、入学科の徴収を猶予することがあります。

- ① 経済的理由により入学科の納入が困難であり、かつ学業優秀と認められる場合
- ② 入学前1年以内において、本人の学資を主として負担している者が死亡した場合
- ③ 入学前1年以内において、本人若しくは本人の学資を主として負担している者が風水害等の災害を受けた場合
- ④ 前各号に準ずる場合であって、学長が相当と認める事由がある場合

(3) 授業料免除

次のいずれかに該当する人は、本人の申請に基づき選考のうえ、授業料の全額又は一部免除がなされることがあります。

なお、申請時期は大学の指定する日の前期・後期の年2回です。

- ① 経済的理由によって授業料の納入が困難であり、かつ学業優秀と認められる場合
- ② 入学前1年以内において、本人の学資を主として負担している者が死亡した場合
- ③ 入学前1年以内において、本人若しくは本人の学資を主として負担している者が風水害等の災害を受けた場合
- ④ 前各号に準ずる場合であって、学長が相当と認める事由がある場合

5. 奨学金制度

日本学生支援機構の奨学金制度があり、選考によって貸与されます。貸与月額は次のとおりです。

第一種奨学生（無利子）	（修士課程相当）50,000円・88,000円 （博士課程相当）80,000円・122,000円
第二種奨学生（有利子）	50,000円・80,000円・100,000円・130,000円・150,000円から選択

※ 地方公共団体及び民間団体等の奨学生制度もあります。奨学団体が直接募集するものは、団体へ直接問い合わせてください。大学を経由して募集するものは、その都度掲示およびHPにてお知らせします。掲示板等を確認のうえ、申請を希望する場合は、学生生活支援課経済支援係（0985-58-9190）まで連絡ください。

6. 在学中の保険制度

本学では、学生が安心して修学及び研究活動ができるように、学生教育研究災害傷害保険（略称「学研災」）及び学研災付帯賠償責任保険（略称「学研賠」「医学賠」）を取り扱っています。

「学研災」は、修学及び研究活動中又は通学中に起こった不慮の事故により、加入者が身体に傷害を被った場合に災害補償する制度です。本学では、実験・実習などの教育活動を円滑に実施するため、加入されることをお勧めしています。また、「学研賠」「医学賠」は、加入者が修学及び研究活動中に他人にケガをさせたり、他人の財物を損壊したことにより被る法律上の損害賠償を補償する制度です。

これらの保険制度についての詳細と加入手続きについては、入学手続書類と併せて送付します。

7. 学生寄宿舍への入居

学生寄宿舍に入居を希望される人は、「学生寄宿舍入居申請要項」を下記の方法で請求し、入居申請の手続きを行ってください。

(1) 学生生活支援課での請求

宮崎大学創立 330 記念交流会館の学生生活支援課で配付します。

(2) ホームページからのダウンロード

宮崎大学学生支援部のホームページ（下記 URL）から、ダウンロードできます。

URL : <http://gakumu.of.miyazaki-u.ac.jp/gakumu/>

(3) 郵送による請求

返信用封筒（角形 2 号、本人の住所・氏名・郵便番号を明記のうえ、140 円分の切手を貼付したもの）を同封し、「学生寄宿舍入居申請要項請求」と朱書のうえ、下記住所まで郵送してください。

〒889-2192

宮崎市学園木花台西 1 丁目 1 番地

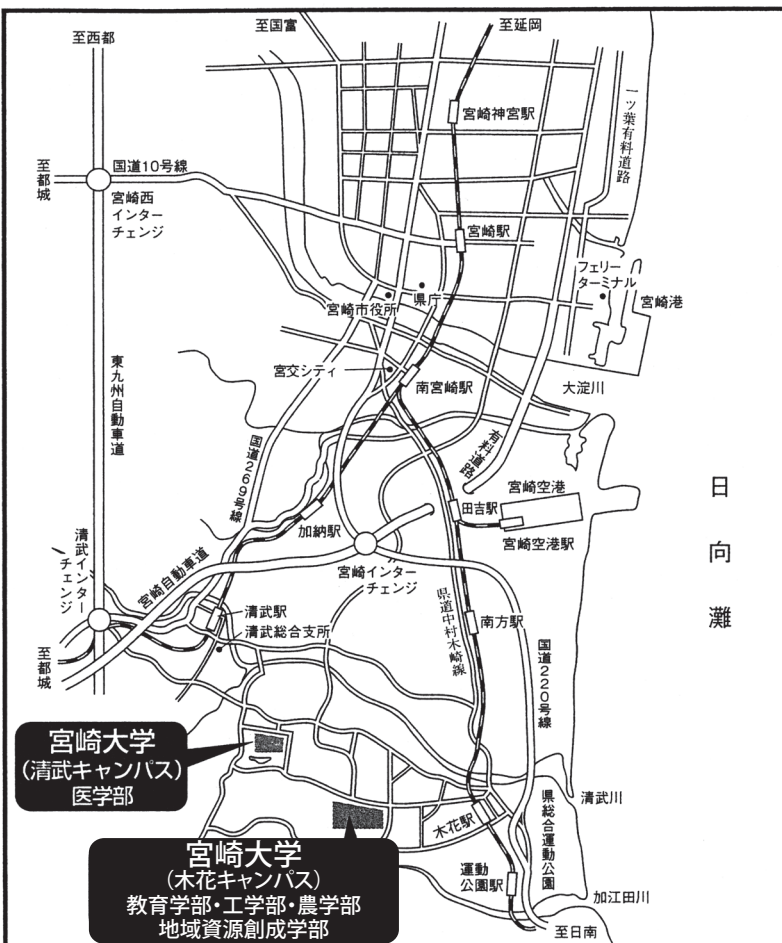
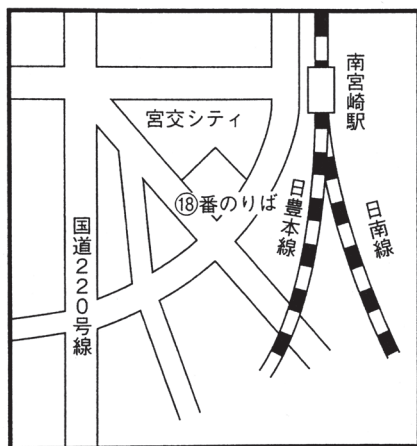
宮崎大学学生支援部学生生活支援課

電話 (0985)-58-7142

※申請要項の請求時期 11 月上旬～12 月中旬

※申請書類の提出期限は「入居申請要項」にて通知します。提出期限後の申請書は受理できませんので、入居を希望する者は、「入居申請要項」を請求してください。

宮崎大学位置図



交通案内

JR

宮崎空港駅
 (3～4分・160円) (10～12分・230円)
 宮崎駅 — 南宮崎駅 — (JR日南線) — 南方駅 — ①木花駅 —
 (5～7分・210円)
 ②③清武駅 — (JR日豊線) — 日向杵掛駅

※南宮崎駅の上段()書は、
宮崎駅からの、木花駅及び清武
駅の上段()書は、南宮崎駅
からの所要時間及び運賃を示す。

- ①木花駅下車→バス停「木花」利用(徒歩10分)→木花經由811番線→宮崎大学(約10分・170円)
→大学病院前(約15分・270円)
- ②清武駅下車→バス停「清武総合支所前」利用(徒歩10分)→
清武經由832番線→大学病院前(約10分・190円)
→宮崎大学(約15分・300円)
まなび野經由822番線→大学病院前(約10分・190円)
→宮崎大学(約15分・300円)
- ③清武駅下車→バス停「清武駅前」利用(徒歩3分)→清武經由832番線→大学病院前(約10分・220円)
宮崎大学(約15分・330円)

バス

- ①木花台経由（宮崎交通811番線）
宮崎駅－宮交シティ－国富小前－木花－宮崎大学（約40分・630円）
－大学病院前（約45分・700円）
- ②まなび野経由（宮崎交通822番線）
宮崎駅－宮交シティ－農高前－県立看護大学－清武総合支所前
－大学病院前（約45分・570円）－宮崎大学（約50分・660円）
- ③清武経由（宮崎交通832番線）
宮崎駅－宮交シティ－産経大入口－加納小入口－清武総合支所前
－大学病院前（約40分・570円）－宮崎大学（約45分・660円）

※医学部試験場で受験する人は「大学病院前」下車となります。

タクシー

J R 宮崎駅から 約35分・3,500円程度
J R 木花駅から 約15分・1,700円程度
宮崎空港から 約20分・2,500円程度

J R 南宮崎駅から ———— 約25分・2,800円程度
J R 清武駅から ———— 約10分・1,300円程度